兵庫保険医新聞 2011 年 8 月 25 日 (毎月 3 回 5･15･25 日発行) (昭和 43 年 6 月 12 日第三種郵便物認可) 号外 (年間購読料 12, 000 円)

兵庫県保険医協会北阪神支部主催　経営対策研究会

医療機関で使えそうな…

参加無料

雇用助成金～賃金計算も含めて

日　時　**9月17日**（土）15 時～ 17 時

会　場　**いたみホール**　5Ｆ会議室1

（TEL：072-778-8788）

講　師　桂労務社会保険総合事務所

桂　好志郎 氏

定　員　**30人**（定員になり次第締め切ります）

東日本大震災の被災者に対する政府の緊急雇用対策で、被災地だけでなく広域的に雇用を確保するため、全国の中小企業が被災者を１人雇用するごとに 90 万円を助成する制度がこの４月新設されました。

この他にも労働者を新たに雇い入れるとき、福利厚生制度の改善を行ったとき、育児や介護を支援するとき、教育研修を行うときなど、様々な状況に応じて、助成金制度が用意されています。

今回は“医療機関で使えそうな”雇用助成金の種類や、必要とする人材の確保に助成金を有効活用する方法について、社労士の桂先生にお話しいただきます。あわせて賃金計算の基礎もご紹介いただきます。雇用助成金制度の基礎知識と活用のポイントをおさえる本企画にぜひご参加ください。

＊院長先生をはじめ、雇用管理を担当されている方々のご参加をお待ちしております。

※恐れ入りますが、下記ＦＡＸにてお申し込みください。
お問い合わせは協会事務局　吉永・小川まで　ＴＥＬ０７８－３９３－１８１７

（切り取らずに返信ください）　**【ＦＡＸ返信】078-393-1802**

経営対策研究会（９/１７）に　　兵庫県保険医協会北阪神支部担当 行

□参加する（　　）人

地　区＿＿＿＿＿＿＿＿　お名前＿＿＿＿＿＿＿＿　職種（　　）

☎＿＿＿＿＿＿＿＿　FAX＿＿＿＿＿＿＿＿

兵庫保険医新聞 2011 年 8 月 25 日 (毎月 3 回 5･15･25 日発行) (昭和 43 年 6 月 12 日第三種郵便物認可) 号外 (年間購読料 12, 000 円)

兵庫県保険医協会
北阪神支部ニュース

2011 年　8月 25 日号　No.214
発行者　兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長　中井通治
〒 650-0024　神戸市中央区海岸通 1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階
☎(078)393-1801　FAX(078)393-1802
http：//www. hhk. jp/

特別研究会・感想文

原爆症裁判から知る国の無責任さ

伊丹市・歯科　工藤大八郎

北阪神支部は７月 16 日、宝塚商工会議所で、宝塚医療生活協同組合と共催で、特別研究会を開催。協会副理事長・東神戸診療所所長の郷地秀夫先生が「原発事故と内部被ばく～被ばく者医療の経験から」をテーマに講演。会員・市民ら１１６人が参加した。感想文を紹介する。

「内部被ばく軽視は重大な問題」と郷地先生

折しも世間では「放射性セシウムを含む稲わらを与えていた肉牛が、抽出検査をすり抜け、食肉として消費者の口の中にまで届いてしまった」と連日、ニュースになっておりますが、誠に恐ろしい話です。

しかし、そういうことをあまり言うと風評被害がどうなどと言う人がいますが、風評被害を言うなら、政府は食品の全品検査をして、国民に安全を宣言するべきです。

それに、まず政府は最初の会見で「風評被害を含めて補償をする」と言っておりましたが、国民は、そんなことを信用していないと思います。30 キロ圏内の補償ですら、怪しいと思っているでしょう。

今回のご講演で、いろいろと情報操作があったのではないかと考えていたことが、確信に変わることになりました。

測定しないアルファ線、ベータ線、中性子線。日本の報告を過小評価したＩＡＥＡ。プルサーマルの報告のない日本政府のＩＡＥＡ報告。メルトダウンの発表に２カ月…

（２面につづく）

兵庫保険医新聞 2011 年 8 月 25 日 (毎月 3 回 5･15･25 日発行) (昭和 43 年 6 月 12 日第三種郵便物認可) 号外 (年間購読料 12, 000 円)

（１面からつづく）

など書きだしたらきりがないくらいです。

郷地先生は、原爆症裁判のお話もされました。そこで、爆心地からの距離でだけ判断されて、内部被ばくを認めない国の態度を知りました。これは、今後福島の方々にがんや白血病などが増えた場合などにも、内部被爆というものを認めない主張をする、将来の国の姿かも知れません。

最初の会見で言った「風評被害を含めて補償をする」とはほど遠く、全く違うことを将来国がするという、ある意味の啓示です。

核兵器のない世界めざして　～7・8伊丹市役所前

平和行進への激励あいさつ

伊丹市　小泉　勇

今年も七夕さんと同じく、１年ぶりに元気な皆さんとお会いできて喜んでいます。

しかし、今年は東北で原子力発電所が世界最大級の事故を起こし、地域の人々の健康と生活が悲惨な状況に追い込まれています。

「核廃絶は人類の願い」と小泉先生

元来、戦後間もなく、アメリカの原子力潜水艦の動力源として開発された原発が、米軍事産業と日本の電力を中心とした大企業の思惑によって日本に導入されたものゆえ、事故など不測の事態に配慮されたものではなく、人間を含めた生き物の遺伝子を傷つけ、がんを発生させる放射線をまき散らすのを止める技術を持たぬまま、拡大されてきたものです。

今年は、私たちは原発をなくす―悪魔が出す排泄物をなくす運動も始めないといけないかもしれません。

しかし、根源である悪魔の兵器・核兵器が、今も世界中の平和愛好の人々の心に恐怖の圧力を加え続けています。

市民の力で一日も早く核兵器をなくすよう、今年も原水爆禁止世界大会を成功させましょう。

兵庫保険医新聞 2011 年 8 月 25 日 (毎月 3 回 5･15･25 日発行) (昭和 43 年 6 月 12 日第三種郵便物認可) 号外 (年間購読料 12, 000 円)

宝塚社保協　第7回定期総会のご案内

参加無料

宝塚市の介護保険　現状と課題

―「改定」介護保険法の問題にもふれて

講師　大阪社会保障推進協議会事務局

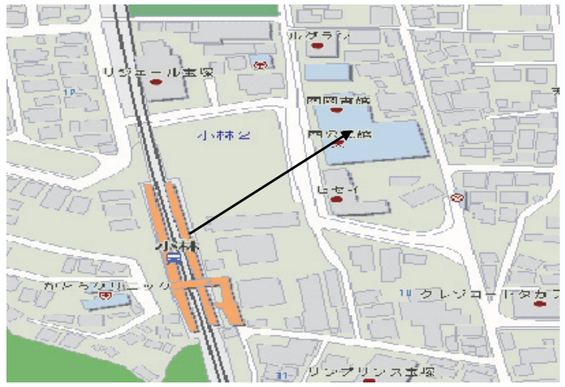
日下部　雅喜 氏

日時　**9月13日（火）18：30 ～ 20：45**

（学習講演は 19 時～ ）

会場　**宝塚市立西公民館 (図書館) 2F　セミナー室**

（宝塚市小林 2 丁目 7-30　阪急小林駅から徒歩約３分　下図参照 ）



6 月 15 日参院本会議で、介護保険法改定案が賛成多数で可決、成立しました。

「改定」法は「要支援」と認定された高齢者へのサービスを、市町村の判断で安上がりなサービスに置き換えることを可能にすることや、医療専門職が行うべき医療的ケアを介護職員に押しつけるなどの問題点があることから反対意見も多くありました。しかし、その危険性は介護を必要とする多くの当事者には知られていません。

今回は、長年介護保険現場の状況や制度を詳細に研究されてきた大阪社保協の日下部さんにご講演いただき、「改定」法の問題点はもちろん、介護保険制度の今後の方向性について学びあう機会にしたいと思います。また、最新の市の予決算のデータにより、この宝塚市の介護保険制度の現状と課題を検証する予定です。

みんなで学び、ともに考えましょう。ふるってご参加ください。

日下部　雅喜（くさかべ　まさき）氏ご紹介

大阪府堺市職員／福祉・介護オンブズネットおおさか事務局長／介護保険料に怒る一揆の会事務局長／介護保険料一揆に連帯する木っ端役人の会代表／大阪社会保障推進協議会介護保険対策委員／各地域社保協で講演多数

お問い合わせは、TEL：0798-57-3137　宝塚医療生協内　社会保障をよくする宝塚の会まで